



小さな命を救っていただき、ありがとうございます♥  
1匹でも保護動物が減るようご理解、ご協力ください。



## 手術を行っていただき、ご報告をお願いします。

### いつ行うのか

保健所は、清潔な環境とは言えない場所で、この子達は1週間近く過ごしてきました。病気をうつされている可能性もあります。元の飼い主さんがあまりケアをしてあげていない場合もあります。数日、外で過ごしている場合もあります。動物たちが少し落ち着いたら、1ヶ月以内に検査・病気の治療・歯・や耳、お腹の洗浄などと共に避妊手術を行う事が、費用を安く抑えられます。今後、安心して過ごせるように、健康管理と共に避妊・去勢手術をおこないましょう。



### 不妊・去勢手術費補助金

犬や猫の望まない繁殖を防ぐことを目的として、飼い犬・飼い猫に不妊・去勢手術を行った方に対して、その費用の一部を補助している地域がございます。お住まいの市町村でお尋ねください。

### 不妊・去勢手術のメリット・デメリット

不妊・去勢手術を行うと

- 望まない妊娠がなくなる。
- 卵巣や精巣、子宮や前立腺など生殖器の病気のリスクが低くなる。
- 性ホルモンに関係する乳腺腫瘍や肛門嚢腫などのリスクが低くなる。
- 大きな鳴き声やマーキング、外に出たがる、ケンカなど発情期特有の行動がなくなる。
- 攻撃性が低下し、穏やかな性格になる。
- 様々なリスクが低減することにより、寿命が延びる。



なにより 犬や猫にとっても、繁殖できないことのストレスから解放され、より穏やかに暮らすことができます。

- 一方で
- 麻酔時のリスクがある。
  - 肥満傾向になる。 というデメリットがあるといわれております。

しかしいずれも適切な麻酔管理や栄養管理でそのリスクは軽減できます。

### 1匹飼いだから必要なし♪と、思っても…

敷地内につないでいた犬に他の放し飼いの犬が来た…。猫が逃げ出して、妊娠して帰って来た。友達が犬をつれて遊びにきたら、数日後、妊娠した…。否認していない猫が逃げた…。大丈夫と、思っただけでも犬猫はちょっとした事で妊娠します。

↙ 油断するとどうなるか、裏面をチェック!!



## もし不妊・去勢手術をしなければ…

猫は交尾の刺激により排卵する動物なので、1回交尾するとほぼ100%妊娠します。  
妊娠したメスは60～68日後に平均で6匹前後の子猫を出産します。  
生まれた子猫は6～8か月後には最初の繁殖シーズンを迎え、  
妊娠、出産できるようになります。



### 例えば

- 0か月目 飼っているメスの1匹の猫が、不妊・去勢手術をしていなかったため、オス3匹、メス3匹の子猫を出産しました。現在家には猫が7匹います。
- 6か月後 生まれた3匹のメス猫は成長し、それぞれが交尾し、妊娠しました。8か月後、それぞれのメス猫が6匹の子猫を出産しました。現在家の猫は25匹です。
- 14か月後 9匹のメス猫は成猫になり、それぞれ交尾し、妊娠しました。16か月後、それぞれのメス猫が6匹の子猫を出産しました。たった1年と4か月の間に79匹にまで増えてしまいました。

犬の繁殖力も決して低くなく、交尾時の妊娠確率も高く、猫に負けないスピードで増えます。



## もし意図せず生まれてしまったら…

「動物の愛護及び管理に関する法律」が改正され、都道府県等は犬猫の引取りを拒否できるようになりました。不妊・去勢手術等の繁殖制限措置を実施せずに生まれた子犬、子猫を引き取っておりません。飼えない場合、生まれた子犬・子猫は飼い主自らの手で譲渡先を探していただく必要があります。

※ 避妊に対する認識が広まり、手術を行うのに病院によっては、1～2か月待ちの場合があります。予約し手術の日までに妊娠することも多々あります。お早めに病院にご相談、ご予約ください。

